

焼津市文化振興計画策定に係るアンケート集計結果について

(1) 調査の目的

焼津市文化振興計画策定にあたり、その基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の概要

調査対象： 市内幼稚園・保育園・放課後児童クラブ在籍児童の保護者、市内高校・大学の在校生、文化会館利用者他

調査方法： 郵送及び配布

調査期間： 2018年7月～8月

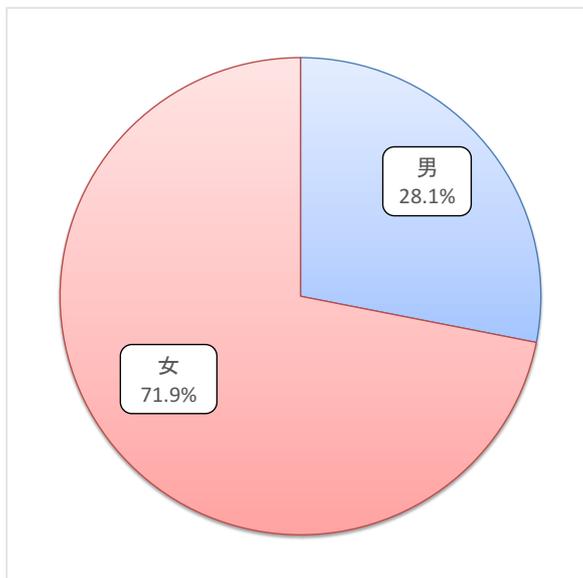
配布数： 3,000通

回収数： 1,772通 回収率： 59.10%

(3) 調査結果の概要

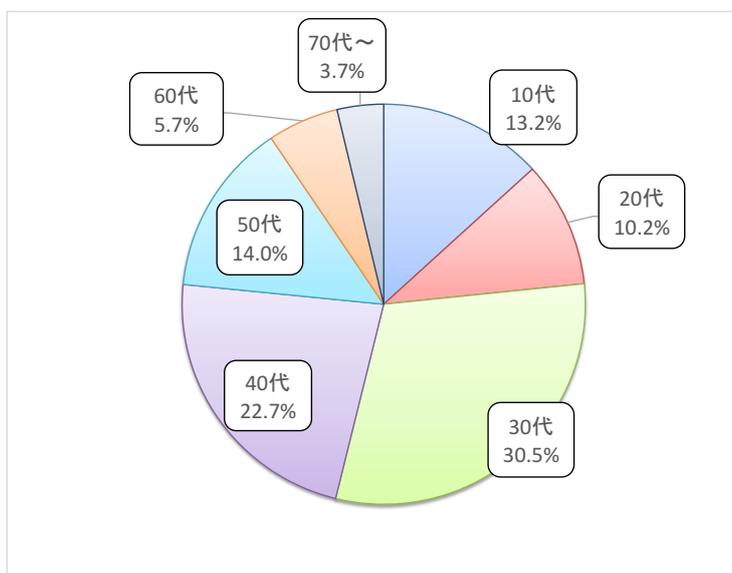
問1 あなたの性別を教えてください

1 男 2 女



問2 あなたの年代を教えてください

1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代 7 70代～



問3

職業を教えてください

1 会社員・公務員・自営業

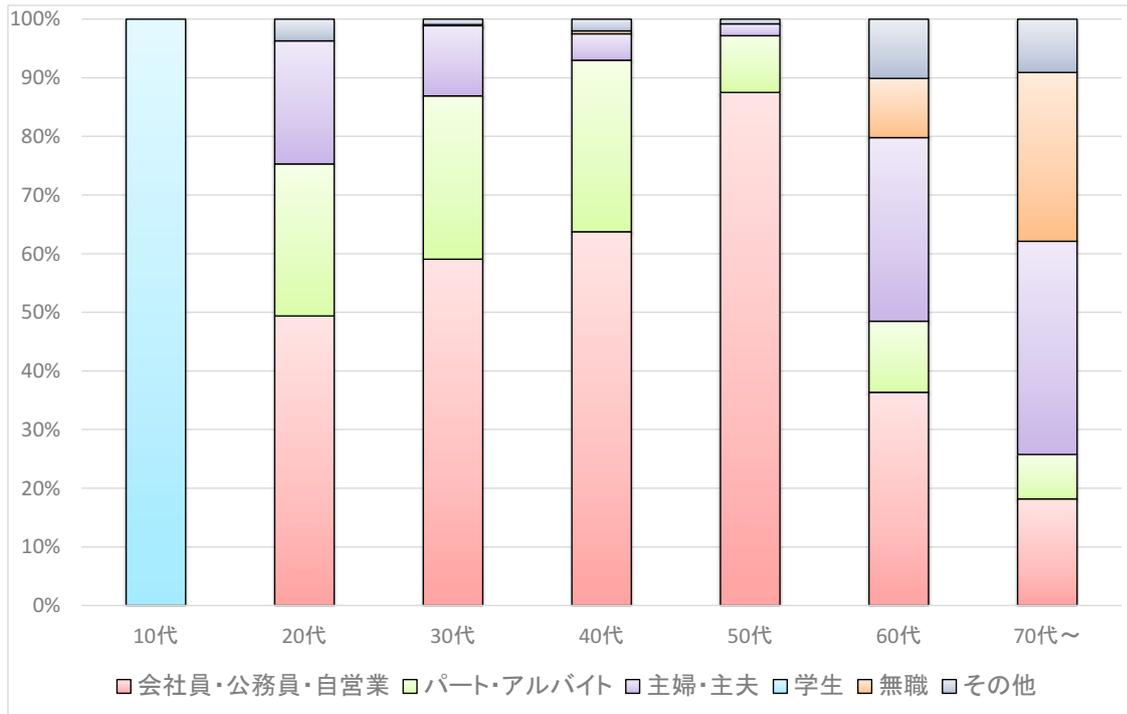
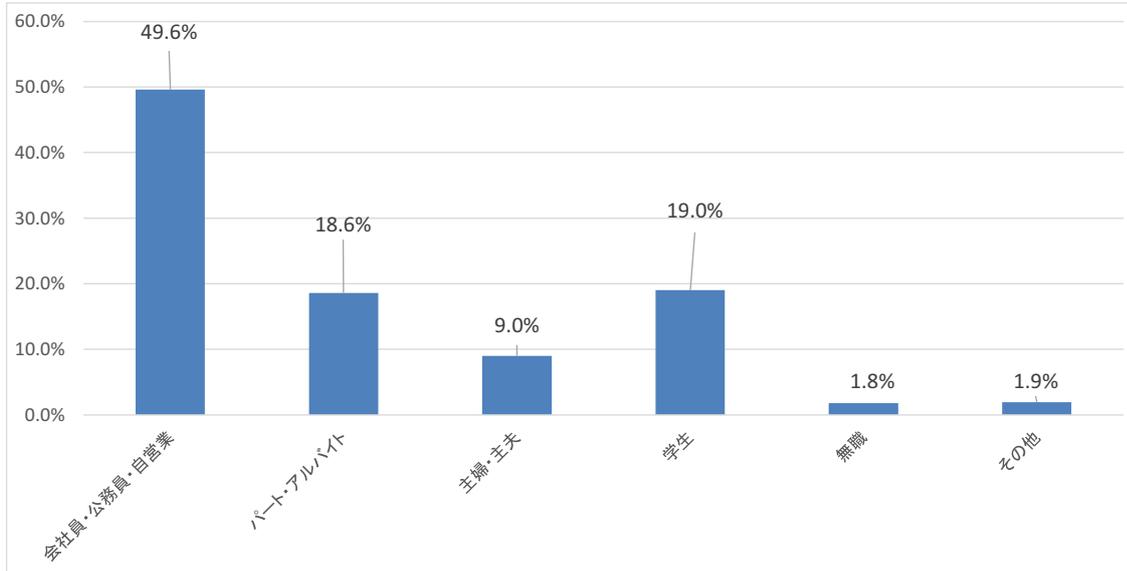
2 パート・アルバイト

3 主婦・主夫

4 生徒・学生

5 無職

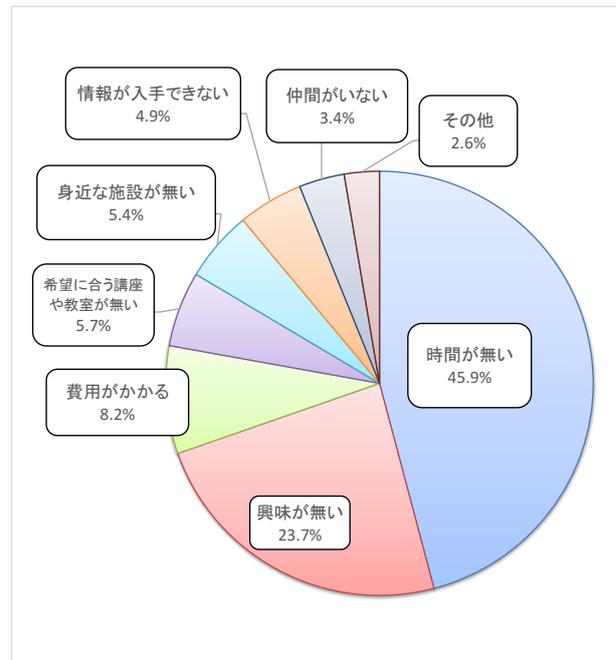
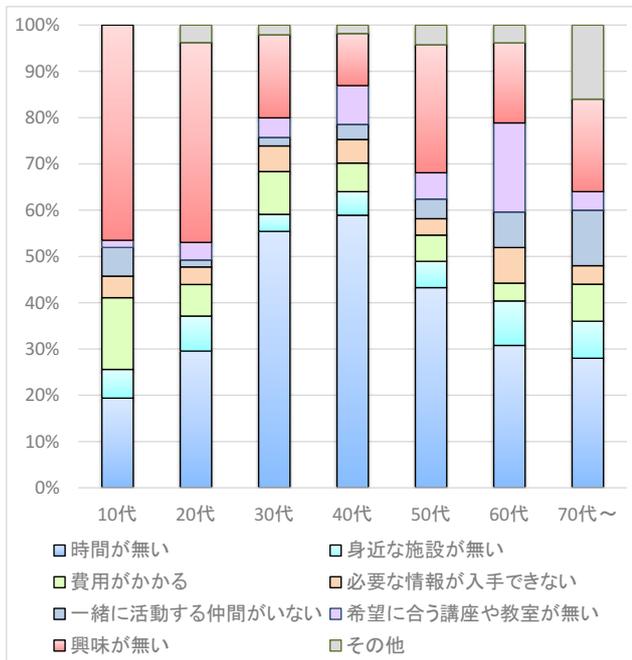
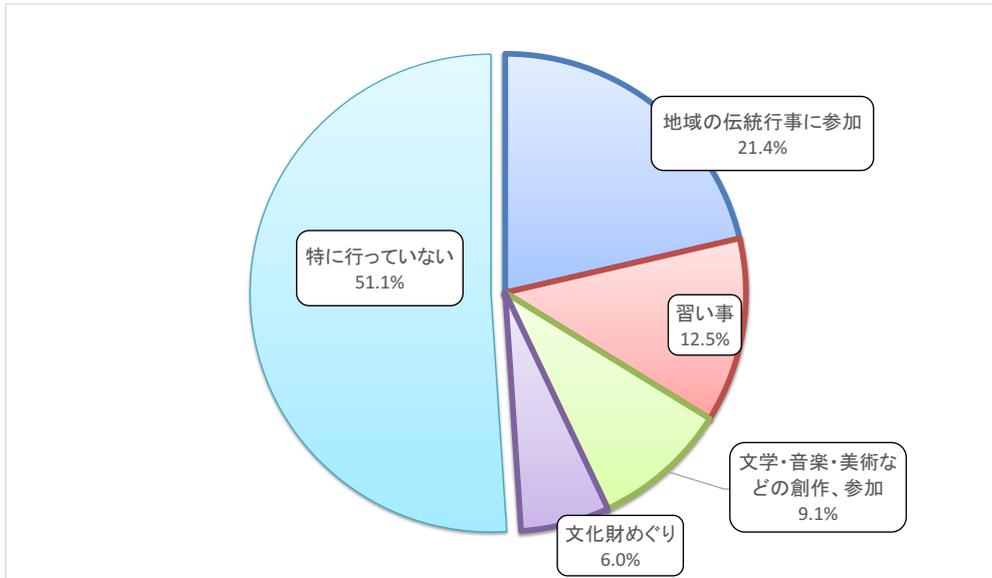
6 その他



問5

この1年間に、鑑賞を除く文化芸術活動の経験はありますか

- 1 文学・音楽・美術・演劇・舞踊・映画などの創作・参加
- 2 音楽・舞踊・華道・茶道・書道などの習い事
- 3 地域の伝統芸能や祭りへの参加
- 4 地域の文化財めぐり
- 5 特に行ってない(下記、問5-1へ)

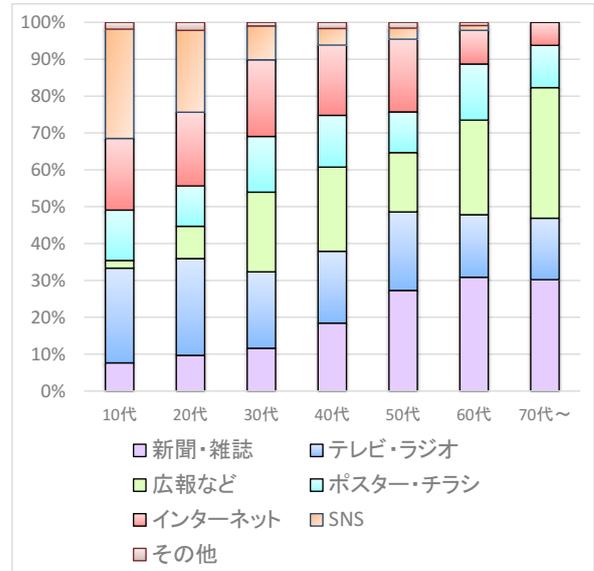
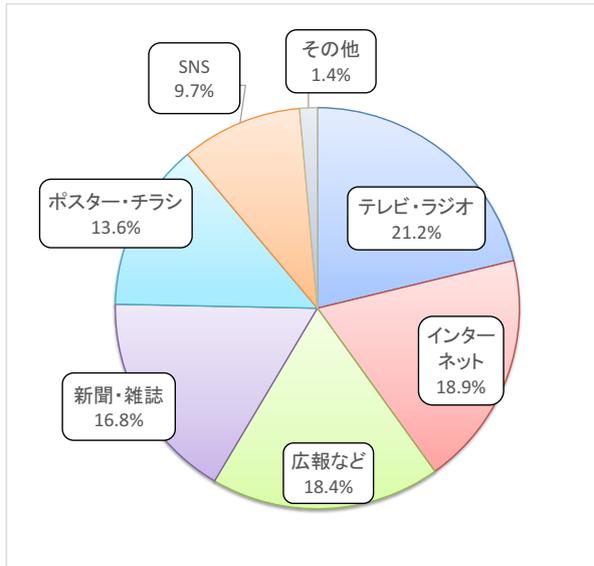


鑑賞を除く文化芸術活動は51.1%の人が特に行ってないと答えており、鑑賞することに比べてハードルが高いと感じる人が多い。既に習い事をしている人や地域の行事に参加している人は日ごろから文化芸術活動に親しんでいる。行かなかった理由を見ると、忙しくて時間が無い人が大半だが、そもそも文化活動に興味が無い人も2割以上いた。その他、活動するにあたり、施設使用料が高いと感じる人も多い。

問6

あなたは普段、文化芸術に関する情報をどこで入手していますか。(複数回答可)

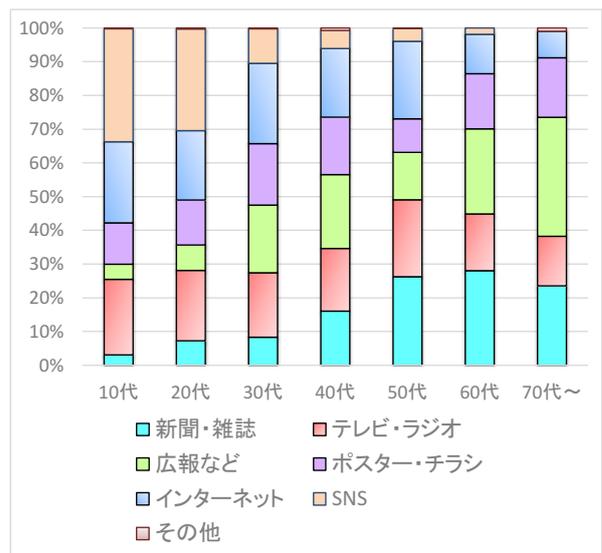
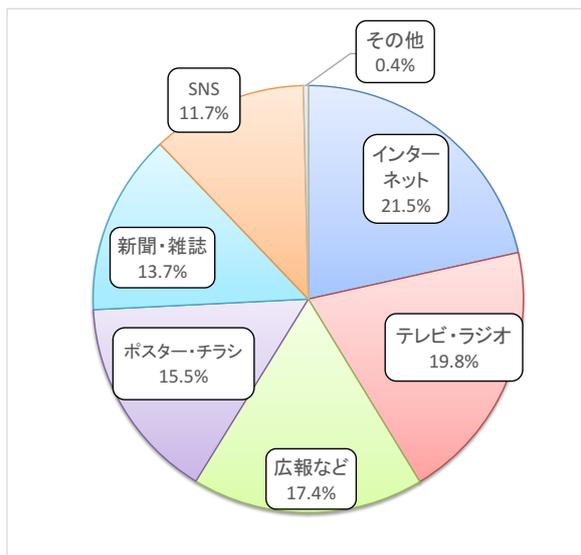
- 1 新聞・雑誌
- 2 テレビ・ラジオ
- 3 広報やいづ、公民館だより、いべにゆ(焼津文化会館・大井川文化会館情報誌)
- 4 ポスターやチラシ
- 5 インターネット
- 6 SNS
- 7 その他()



問7

文化芸術に関する情報の入手の手段は、どういうものが利用しやすいですか。(複数回答可)

- 1 新聞・雑誌
- 2 テレビ・ラジオ
- 3 広報やいづ等、市が発行するもの
- 4 ポスターやチラシ
- 5 インターネット
- 6 SNS
- 7 その他()

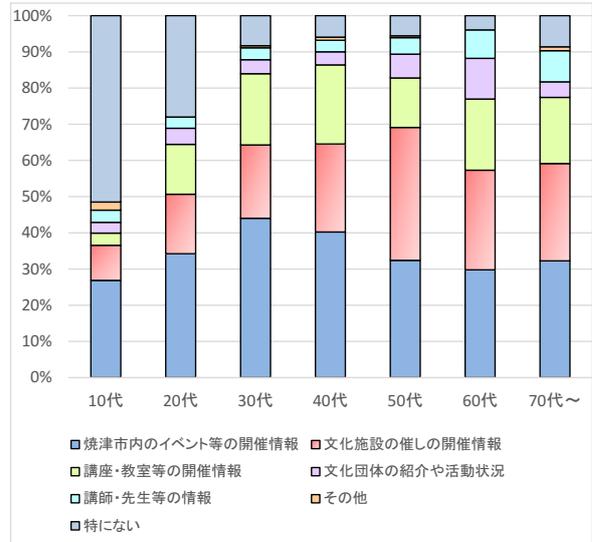
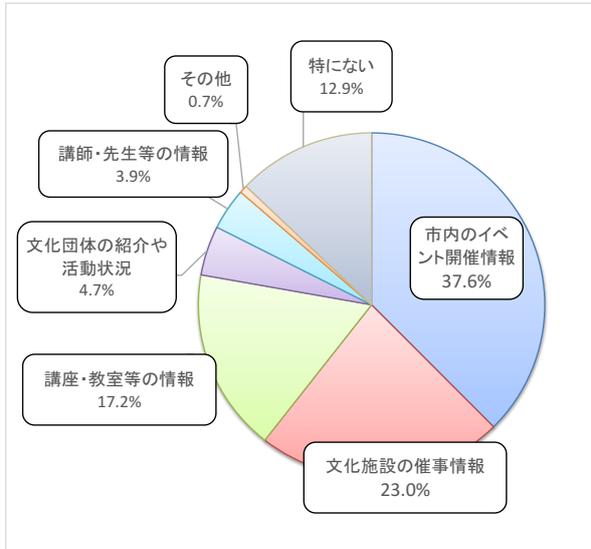


情報の入手先や利用しやすいと感じる手段は、年代によって差が出た。若い世代ほどインターネットやSNSなどの電子媒体を利用する人が多い。10代と20代では50%以上が電子媒体を利用しやすいと感じている。逆に、年代を重ねるにつれて新聞や広報誌等の紙媒体が利用しやすいと感じている。全年代共通して、テレビやラジオからの情報は頼りにしている。

問8

あなたが知りたい文化芸術の情報とはどのようなものですか。(複数回答可)

- 1 焼津市内のイベント等の開催情報
- 2 文化施設の催しの開催情報
- 3 講座・教室等の開催情報
- 4 文化団体の紹介や活動状況
- 5 講師・先生等の情報
- 6 その他の情報()
- 7 特にない

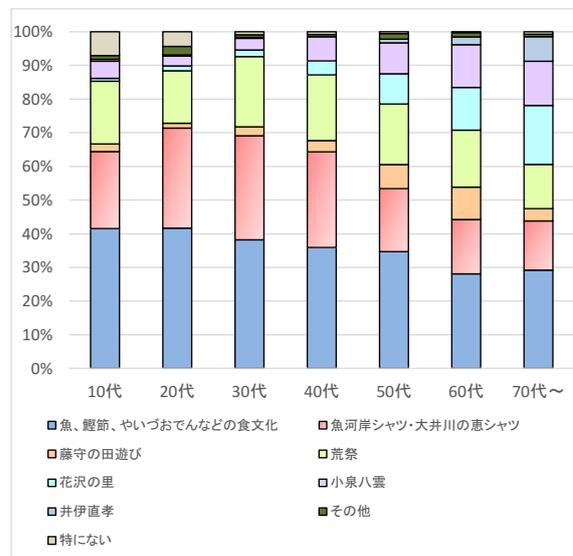
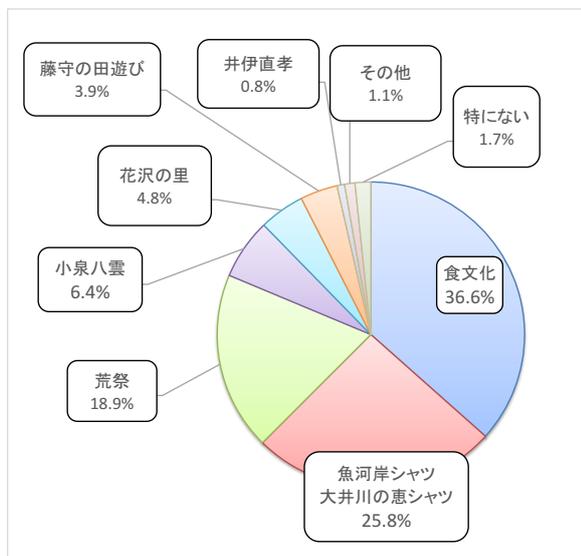


知りたい文化芸術情報について特にないと答えた割合が10代では51.5%、20代では28.0%あった。市内のイベント情報は各年代で求められており、37.6%となっている。次に文化施設の催事情報、講座や教室の開催情報を知りたいと感じる人がそれぞれ2割近くいる。

問9

「焼津の文化」といえば、何をイメージしますか。または、セールスポイントだと思うものを教えてください。(複数回答可)

- 1 魚、鯉節、やいづおでんなどの食文化
- 2 魚河岸シャツ・大井川の恵シャツ
- 3 藤守の田遊び
- 4 荒祭
- 5 花沢の里
- 6 小泉八雲
- 7 井伊直孝
- 8 その他の文化()
- 9 特にない

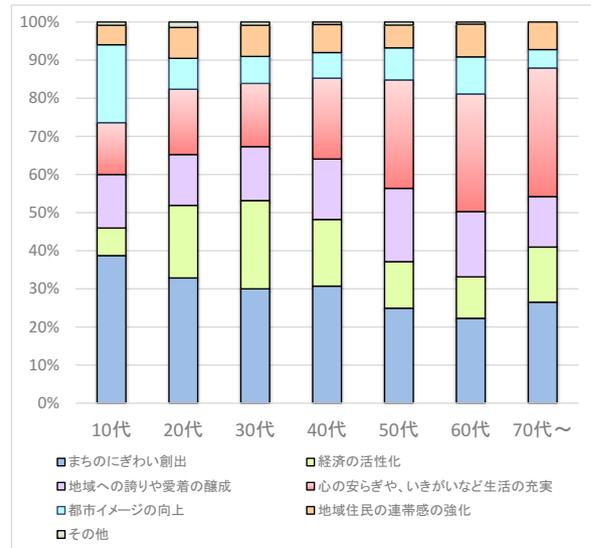
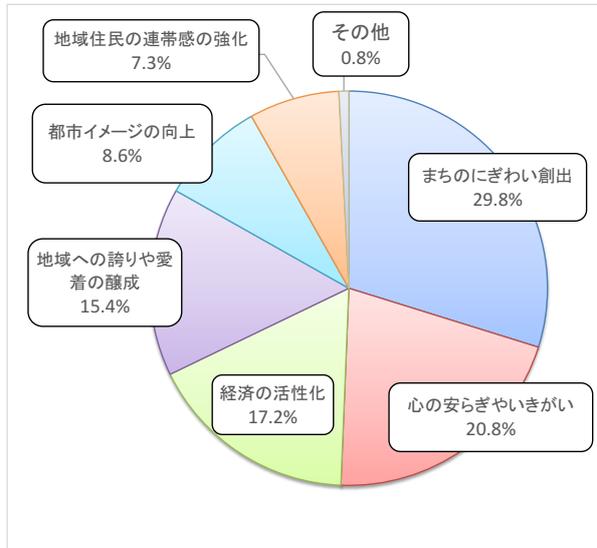


焼津の文化・セールスポイントとして食文化が全世代において1番多くあげられ、全体で36.6%であった。次に、魚河岸シャツが25.8%で荒祭りが18.9%であった。魚河岸シャツと回答した人は10代から50代が多い。荒祭り・藤守の田遊び、その他意見として海上花火や踊夏祭・オータムフェストなどの祭りと回答した人も20%以上いる。

問12

文化芸術の活動が充実することにより、あなたが期待する効果は何ですか

- 1 まちのにぎわい創出
- 2 経済の活性化
- 3 地域への誇りや愛着の醸成
- 4 心の安らぎや、いきがいなど生活の充実
- 5 都市イメージの向上
- 6 地域住民の連帯感の強化
- 7 その他()

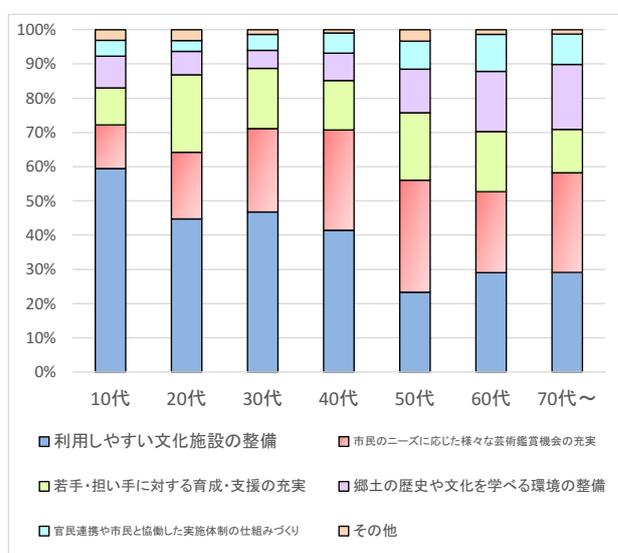
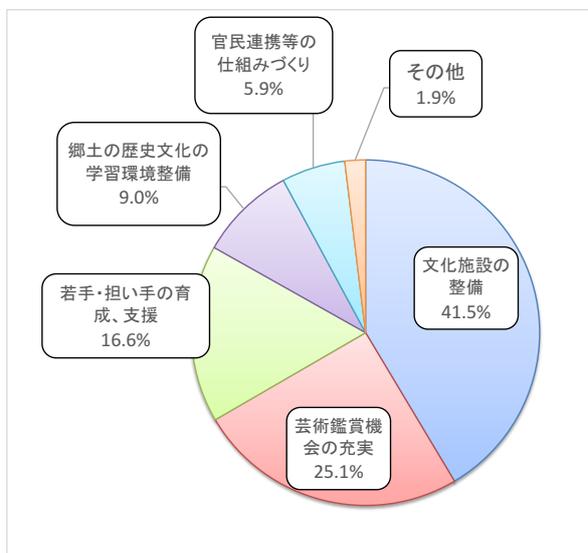


文化芸術の活動が充実することにより期待する効果については、まちのにぎわい創出が29.9%であった。まちがにぎわう事で経済が活性化し、都市イメージの向上や地域への愛着の醸成、連帯感の強化に繋がり、個人の充実感が心身の充実に繋がっていくといった循環が大切であるという意見があった。

問13

文化芸術を行う環境をよりよくするためには、どのような取り組みが必要だと思いますか

- 1 利用しやすい文化施設の整備
- 2 市民のニーズに応じた様々な芸術鑑賞機会の充実
- 3 若手・担い手に対する育成・支援の充実
- 4 郷土の歴史や文化を学べる環境の整備
- 5 官民連携や市民と協働した実施体制の仕組みづくり
- 6 その他()

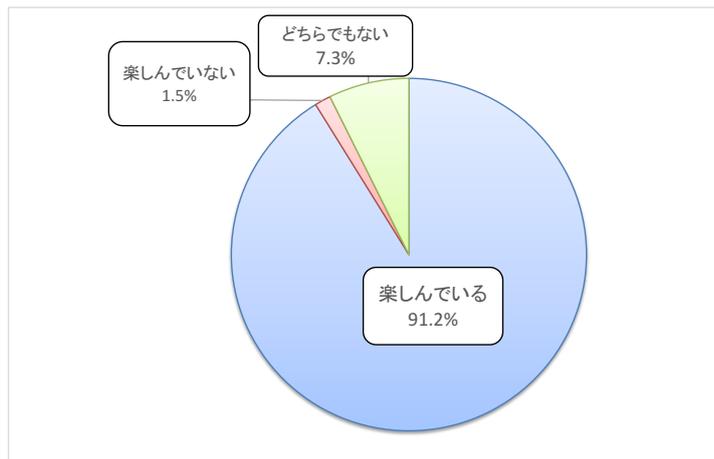


利用しやすい文化施設の整備が必要であると回答した人が41.5%であった。市民のニーズに応じたさまざまな鑑賞機会の充実を求めている人は、25.1%であった。若手・担い手に対する育成・支援の充実を文化芸術に係る課題として挙げた人が16.6%いた。

問14

お子さんは、園や学校で、音楽や書写、美術、図画・工作を楽しんでいますか

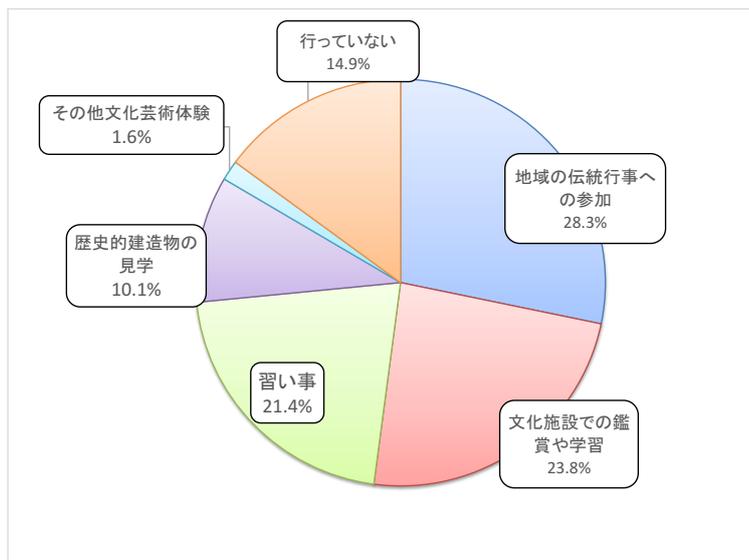
- 1 楽しんでいる 2 楽しんでいない 3 どちらでもない



問15

お子さんは、園や学校の活動以外で、この1年に、どのような文化芸術体験を行いましたか。あてはまるものを選択してください。

- 1 音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事
- 2 ホール・劇場や美術館・博物館などの文化施設における鑑賞や学習
- 3 地域の芸能や祭りへの参加
- 4 歴史的な建物や遺跡などの見学
- 5 その他の文化芸術体験 ()
- 6 行っていない(下記、問15-1へ)
- 4 歴史的な建物や遺跡などの見学
- 5 その他の文化芸術体験 ()
- 6 行っていない(下記、問15-1へ)

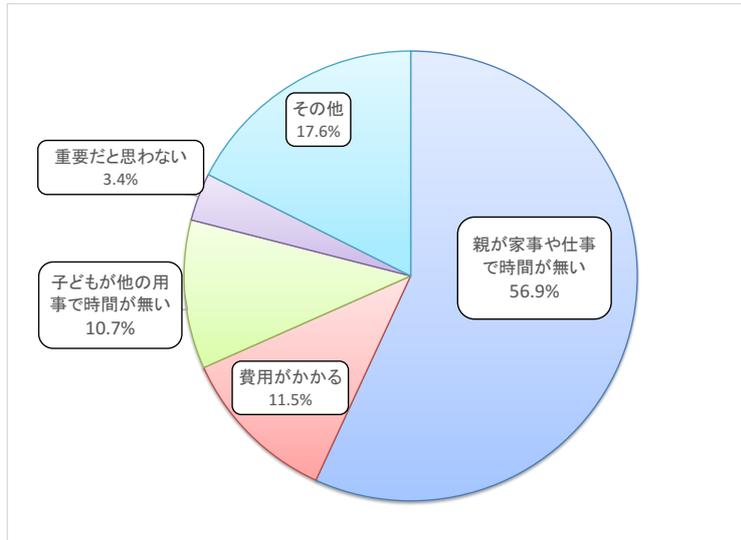


子どもがこの1年間に行った文化芸術活動は、地域の祭りなどへの参加や、習い事、文化施設での鑑賞や学習が同じような割合であった。

行っていない人も15%程度おり、半数以上は親が忙しかったり、部活動や塾などの習い事で行けないとの理由であった。その他の理由で子どもが幼いため連れて行くことが出来ないという理由も多い。

問15 -1 (問15で「6 行っていない」を選択した方へ。) 行わなかった理由を教えてください。

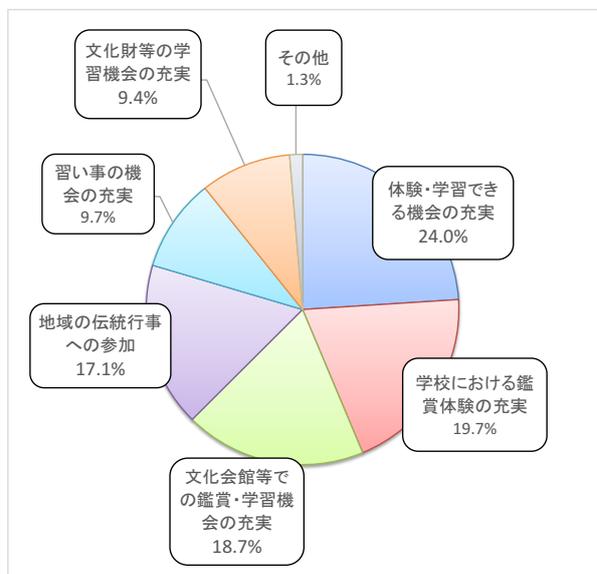
- 1 親が、家事や仕事で時間的な余裕がなかった
- 2 子どもが、塾などほかの用事で時間的な余裕がなかった
- 3 費用がかかるから
- 4 文化芸術体験は、重要だと思わないから
- 5 その他()



子どもが文化芸術体験を行っていない理由は、親が家事や仕事で時間的な余裕が無かったが56.9%にのぼった。子どもの塾や習い事で余裕が無かったと答えた人は10.7%、費用がかかるからと答えた人は11.5%であった。その他意見として、文化活動よりもスポーツを優先する、アウトドア向きであるといった意見や、子どもが幼いため参加できなかったり、小さな子が参加できる活動が少ないといった意見が挙げられた。

問16 子どもの文化芸術体験で、重要な事項は何だと思いますか 3つ以内で選択してください。

- 1 学校における公演などで、オーケストラなど鑑賞体験を充実させる
- 2 文化会館などで、子ども向けの鑑賞機会や学習機会を充実させる
- 3 文化芸術活動を体験、学習できる機会を充実させる
- 4 地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化への参加
- 5 地域の文化財などについて学習する機会を充実させる
- 6 音楽、舞踊、華道、茶道、書道などの習い事の機会を充実させる
- 7 その他()



子どもの文化芸術体験において重要だと思う事項については、学校における鑑賞体験の充実が19.7%、文化会館などでの鑑賞機会や学習機会の充実が18.7%、文化芸術活動の体験や学習機会の充実が24.0%、地域の祭りなどの伝統的な文化への参加が17.1%、地域の文化財などの学習が9.4%、習い事の充実が9.7%であった。